



# 専門新聞写真コンクール特報

第9回

## 平成10年度の入選・秀作計18点決まる

社団法人日本専門新聞協会主催、平成10年度第51回新聞写真・専門新聞写真コンクール入選作選定の審査委員会は、9月28日(月)に東京・港区虎ノ門の日本本専門新聞協会議場で開かれた。

本年度の応募作品の総数は、321点で、審査委員会は日本専門新聞協会会員芳賀日出男先生を委員長に、同会員の江成常夫先生、同岡口照生先生のお二人を

構成委員として審査をお願いしました。

慎重審査いただいた結果、別表のとおり文部大臣奨励賞、協議理事賞、審査委員長賞3点を入選作、15点を秀作と決定されました。

芳賀審査委員長、江成、岡口委員から高橋協会理事長に対して、特報第4面に掲載しましたような審査評を賜りました。



高橋理事長

### デジタル写真の応募にも期待

法人 日本専門新聞協会  
理事長 高橋時春

第9回選定された日本専門新聞写真コンクールには、全国から三百二十点の応募作品が寄せられました。どれも素晴らしい写真でした。特にラマラン、また、理屈抜きで表現した面白さのある写真が多く、ちょっとおもしろい印象でした。被写体がよくわかる写真が多く、これが最も印象的でした。これがあなたの写真撮影の参考になればうれしいです。

さて、「風待ち」と題して、この写真を撮ったときの心強さを感じるところを、「このコンクールで賞を取るために」という

徐々に国際社会理解が深まってきたことは、自然と感じられると思います。特に、文部省の貢献度を受賞された作品は、なかなかかわいいですね。花火は、花火を始めた年に贈呈してもらおうかなと、毎年頼んでいましたが、なかなか買えないままになってしまっておりました。そこで、毎年頼んでいた花火屋の「花火屋」さんから、やっと購入することができました。これが、花火屋さんからの贈呈品でした。本当に嬉しいです。

本工芸は、花火屋さんから

花火屋さんから



『路上の昼休み』

西村 圭市  
(産業新聞社)

『馬に乗り誇らしげな重度障害児』

鈴木 康 (日本教育新聞社)

# 秀 作



『「ワレ、間セズ」—料理とあそび!?の時間—』

安部 康美 (日本教育新聞社)



『工業高校生

宮本 広重 (建設新聞社)



『環境保全のため、低空作業の無人ヘリ』

渡辺 節男 (国際農業社)



『諫早湾・1年後・夏』

井上 忠雄 (環境新聞社)



「パンフでの薄暮の虹」  
波田 幸夫 (環境新聞社)



『雲の向こう 御嶽山下山途中にて』  
鴨川 洋 (日本工業建設新聞社)



秀



作



「月2回の入浴サービスを心待ちにする吉澤眞治(95)さん」(組写真)  
神川 麻紀 (環境新聞社)



『緊急出動』(組写真)  
菅野 雅雄 (福島建設工業新聞社)



『どうすれば大工になれるの』(組写真)  
大須賀巖也 (福島建設工業新聞社)

